

すわみつえ通信

No.303 2024年2月12日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

市民と野党の共闘で立憲主義を取り戻そう！

「市民が野党をつなぐ埼玉6区連絡会」の宣伝行動が2月9日（金）17時30分から18時30分まで、鴻巣駅東口で60名を超える参加者のもと元気に行われました。



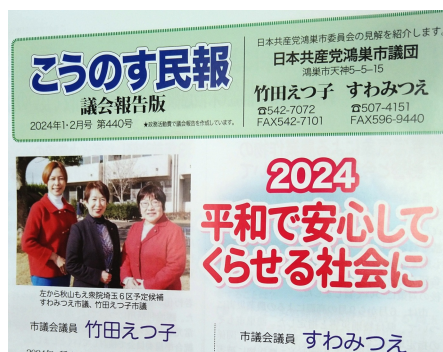
政党では立憲民主党・日本共産党・社民党が参加し、各代表が連帯のスピーチを行いました。日本共産党は衆院埼玉6区予定候補の秋山もえさんが、「自民党政治を終わらせ希望ある新しい日本にしよう」と挨拶しました。

集会開催地である鴻巣市の市民団体からは、鴻北労連・鴻巣革新懇・新日本婦人の会・年金者組合・憲法9条の会の各代表がお話しました。



衆院埼玉6区予定候補
秋山もえ氏=9日、鴻巣駅

しんぶん赤旗の「購読申込」で心にビタミン



12月議会の「このす民報・議会報告版」を後援会の皆さんが地域で配布して下さっています。

先日、お読みいただいた方から「女性3人が並んだ写真がカッコいい」と竹田議員のところに電話があり、しんぶん赤旗を読みたいと日刊紙を購読していただけることになりました。

になりました。

こういったお声をいただくと本当に嬉しいです。議員の仕事は市民の声を聞いて、市政に届け、市民に返していくことです。

まだまだ足りていないと反省しつつ、皆さんからの声が支えとなります。さらに、しんぶん赤旗を読んでいただく方が増えることも大きな支えとなります。

県道32号鴻巣羽生線 屈巢地域 道路工事了

如月や82歳となりけり
瑠璃子

【俳句コーナー】

「道路の傷みがひどく、車の通行の度に振動で家がガタガタと鳴る。特に夜間は大型車の通行で昼間より一層強く感じる」と住民からご相談を受け、北本県土整備事務所に舗装を要望していました。道路工事が完了し、「振動が大幅になくなった」と喜ばれています。



工事前



工事後

民生委員・児童委員協議会に参加

2月5日（月）雪が降り始めた午後、「クレアこのす」で民生委員・児童委員協議会連合会の全員協議会が開催され、日頃の活動報告が行われました。日常の困ったことや障がいのある方などからの相談にのり行政につなげていく役割を果たしている皆さんだからこそ、研修に励み会議も活発に行われていると感じました。

文教福祉常任委員会の副委員長として講評を発言させていただきました。



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

1年の世界気温最高に EU機関発表 産業革命前から1.52度上昇 壊滅的災害に

昨年2月から今年1月までの12カ月の世界の平均気温が史上最高となり、産業革命前の水準を1・52度上回った。欧州連合（EU）の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」（C3S）が8日、明らかにしました。地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」では、産業革命前からの気温上昇について、2度を十分に下回り、1・5度以内に抑えることを目標にしています。1・5度の上昇で気候災害は壊滅的な規模になると予測されていますが、1年単位でこれを上回ったことになります。

C3Sによると、今年1月の平均気温は13・14度で過去最高を記録しました。同月としてこれまで最高だった2020年1月の記録を0・12度上回りました。ロイター通信によると、デンマークのヨーエンセン・グローバル気候政策相は、「エネルギー生産・消費のやり方を数年以内に根本的に変えない限り、われわれは大惨事に向かって進むことになる」と指摘しました。（しんぶん赤旗 2月10日付）

岸田首相の施政方針演説 気候変動問題に言及なし

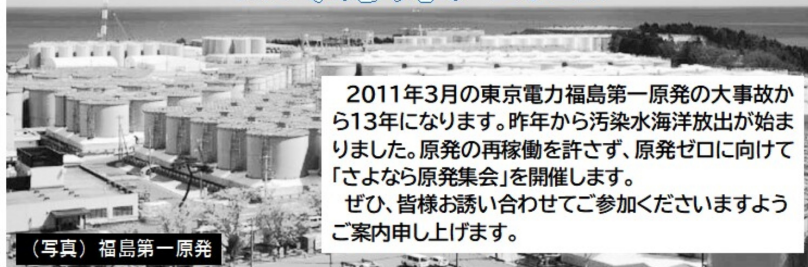
「気候変動問題は今や『気候危機』とも言われていて、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることができない、喫緊の課題です」。2023年版環境白書はこう始まります。ところが、岸田首相は施政方針演説で、気候危機打開の対策について具体的に言及しませんでした。「私たちの未来が奪われる」「私たちが気候危機を止められる最後の世代」一。若者たちは強い危機感を持ち、抜本的な対策を求め立ち上がっています。

しかし、首相は国連が求める30年までの石炭火力からの脱却には後ろ向き。原発の活用まで宣言する逆行ぶりです。「明日は今日より良くなる日本」というなら、若者たちが明るい未来を描けるように逆行姿勢を改め本気で気候危機問題に取り組むことが、国際社会における日本の責務です。

（しんぶん赤旗 1月31日付）

フクシマを忘れない！ 原発再稼働を許さない！

3.9 さよなら原発集会 in 鴻巣 2024



2011年3月の東京電力福島第一原発の重大事故から13年になります。昨年から汚染水海洋放出が始まりました。原発の再稼働を許さず、原発ゼロに向けて「さよなら原発集会」を開催します。ぜひ、皆様お誘い合わせてご参加くださいますようご案内申し上げます。

とき **2024年3月9日（土）14:00～16:30**
ところ **鴻巣市市民活動センター 会議室B**
(エルミこうのすアネックス3階)

☆プログラム☆

13:30 開場 14:00 開会

14:05 第一部 講演

「『汚染水海洋投棄』を『科学の目で』」～「トリチウム汚染水」真の危険性、その除去を目指して～

講師：福島大学名誉教授 石井博行氏

〈略歴〉上尾市出身・上尾市在住、1970年4月 福島大学教育学部（解析学）、2020年3月 福島大学退職

15:30 第二部 講演

「再生可能エネルギーについて」

講師：中村輝正さん（鴻巣市大芦在住）

16:00 参加者の皆さんと意見交流

16:30 閉会（予定）



石井博行教授

主催：平和・民主・革新の時代をひらく鴻巣の会（鴻巣革新懇）

【問い合わせ先】事務局 諏訪晃治 090-9376-1408 根岸博 090-3229-3593
伊藤正一 090-3599-0273

再エネの出力抑制 原発推進 ・火力発電温存から転換を

大手電力会社が再生可能エネルギーの発電事業者からの電力の受け入れを一時的に停止する出力抑制が急増しています。電力需要より、原子力、火力、再エネなどの発電による供給が上回り、需給バランスが崩れ、「大規模停電などにつながるのを回避するための措置だ」としています。再エネで発電した電力を捨てていることは大問題です。

出力制御の国のルールでは、まず二酸化炭素（CO2）の排出量が多く、出力を上げ下げしやすい火力を減らし、余った電気を他の地域に送る。次にバイオマス、太陽光・風力の順で再エネを抑える。出力を簡単に調整できないとされる原発は最後となる。

原発ゼロ、石炭火力発電所の廃止が必要です。地域に根ざした持続可能な経済の発展に寄与する再エネ普及を後押しする政策へと転換すべきです。

（しんぶん赤旗 2月5日付）